



＜学校の教育目標＞
心豊かに たくましく 生きる子

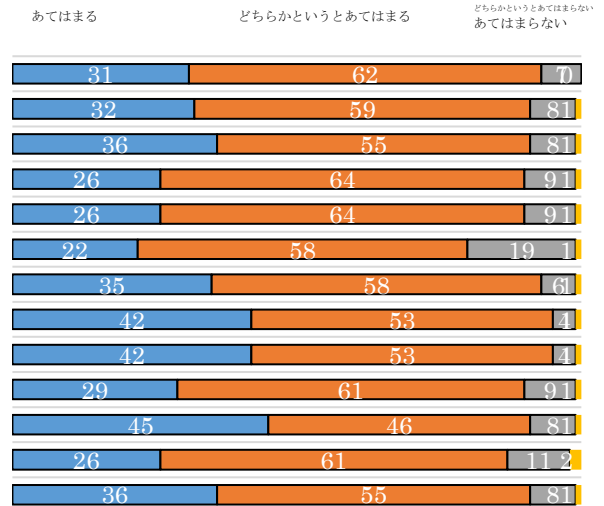
さくら

可児市立桜ヶ丘小学校
号外
令和3年3月1日



学校教育活動アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。回答率86%と多くの保護者の方にご意見をいただきました。ありがとうございました。

| | |
|----|-----------------------------|
| 1 | 「笑顔の学校」を目指して、地域、家庭、学校が連携 |
| 2 | 子どもは授業が分かると感じている。 |
| 3 | 児童生徒の声に耳を傾け、一人一人のよさを認める指導 |
| 4 | いじめ撲滅に向けて主体的に行動できる力 |
| 5 | コミュニケーション能力など、豊かな人間関係づくり |
| 6 | 児童生徒は、将来の夢や希望を持ち、その実現に向けて努力 |
| 7 | 食、保健、運動への関心意欲、たくましい児童生徒の育成 |
| 8 | 安全指導を推進し、危険を回避する資質や態度の育成 |
| 9 | 合理的配慮、一人一人の特性を踏まえた適切な支援 |
| 10 | 学校・家庭・地域が学校の教育目標・方針を理解 |
| 11 | 学校日より、HP等を活用して、情報提供 |
| 12 | 地域の自然、文化財、人材などを有効に活用 |
| 13 | 学校は、整えられ、美しい教育環境 |



今年度は、昨年度末から今年度初めにかけての休校もあり、感染症対策で今までとは違う学校生活を送りました。「あてはまる」と「どちらかというにあてはまる」の肯定的な評価が90%以上という高い結果だったのは、13項目中11項目(1,2,3,4,5,7,8,9,10,11,13)でした。また、昨年度と比較して平均が上がった項目も8項目(2,3,4,6,7,8,9,13)でした。特に、肯定的な評価が高かったのは「安全指導」でした。全校児童みんなが安全な学校生活を送るために一人一人が対策を講じ、実践してきました。これは、保護者の方のご理解・ご協力により実現できたことと感謝しております。

課題となっている項目「(12)地域の自然、文化財、人材などを有効に活用」については、今年度、見学・体験学習の実施が難しく、例年通りの教育活動が行えず充実していたとは言えません。また、「活動がなくなった子どもたちの気持ちを考えて、工夫して活動ができなかったのか。」「子どもたちがかわいそうに思う。」などのご意見もいただきました。一方で、「コロナ禍の中でも、子どもたちの安全を守りながら工夫して学習や行事が行われた。」など、対策を評価していただいたご意見もいただきました。来年度は、今年度の経験を生かして、「実施できること」「工夫すれば実施できること」「実施できないこと」を明確にした教育活動を行っていきます。

もう一つの「(6)児童は、将来の夢や希望を持ち、その実現に向けて努力」については、今年度から導入している「キャリアパスポート」の運用を工夫し、日常生活や学習(めあてを持って活動し、振り返りながら自分の生活を営んでいることなど)を振り返る場を設けることで自分の成長を自覚する指導を行います。そして、発達段階に応じて、そのことが将来の生活と関わっていることや社会とのつながりを意識して生活をする指導にも取り組んでいきます。

さらに、肯定的な評価が90%の項目でも「クラスメイトに『うざい』『死ね』という言葉が平気で言う子がいる」とご意見があり、「(4)いじめ撲滅に向けて主体的に行動できる力」についても課題ととらえています。現在は、「ひびきあい集会」を核にした人権週間や年2回の「あたたかい言葉をかける」取組を行っています。あたたかい言葉をつかうことで相手のことを考えたり、穏やかな気持ちになったりすることを意図しています。今までも、日常的に、場に応じていじめ問題については取り上げてきましたが、さらに全職員で取り組むべき課題と位置付けて、継続して行っていきます。

今年度は「ふるさと参観日」の1回しか授業参観が実施できませんでした。そのこともあり、「コロナの影響で子どもの様子を見る機会が少なくなっているので、HPの更新を増やしてほしい。」というご意見をいただきました。現在は、HPを毎週更新しています。3月初旬からは新しいHPに更新し、できる限り学校の様子を発信します。また、現状が継続する場合でも、来年度は分散参観のように工夫して参観をしていただく計画を進めています。

すぐに、以前のような日常が戻って来るとは思えません。皆様からいただいた貴重なご意見を踏まえて、今年度の経験を活かし、今後の教育活動の改善に向けて検討を進めていきます。今後も家庭・地域の皆様と連携して、笑顔があふれる学校を目指していきます。